４　中学校

[Ⅰ-4-1表] 　　主要指標の推移

（１）学校数

ア　学校数は531校で、前年度より3校減少している。 [Ⅰ-4-1表]

イ　設置者別では、国立3校(構成比0.6％)、公立464校(同87.4％)、私立64校(同12.1％)で、前年度より公立は1校、私立は2校減少している。 [Ⅰ-4-1表・統計表23]

ウ　市町村別では、大阪市157校、堺市47校、東大阪市28校の順に多く、忠岡町・田尻町・岬町・河南町・千早赤阪村1校、島本町・豊能町・能勢町・太子町2校の順に少ない。

[統計表23]

エ　都道府県別では、東京都815校、北海道633校、大阪府531校の順である。 [付表-5]

（２）学級数

ア　学級数は8,346学級で、前年度より6学級(対前年度△0.1％)減少している。 [Ⅰ-4-1表]

イ　設置者別では、国立33学級(構成比0.4％)、公立7,641学級(同91.6％)、私立672学級(同8.1％)で、前年度より公立は6学級増加し、私立は12学級減少している。

 [Ⅰ-4-1表・統計表23]

ウ　学級編制方式別では、単式学級6,843学級(構成比82.0％)、複式学級2学級（同0.0％）、特別支援学級1,501学級(同18.0％)で、前年度より単式学級は105学級減少し、複式学級は同数、特別支援学級は99学級増加している。 [Ⅰ-4-2表]

エ　市町村別では、大阪市2,246学級、堺市786学級、東大阪市472学級の順に多く、千早赤阪村7学級、田尻町11学級、河南町14学級の順に少ない。

また、前年度より、堺市17学級、箕面市7学級、大阪市5学級の順に増加し、八尾市9学級、羽曳野市8学級、守口市7学級の順に減少している。 [統計表23・付表-7]

[Ⅰ-4-2表]　 学級編制方式別学級数・生徒数

（３）生徒数

ア　生徒数は24万4,705人で、前年度より4,242人(対前年度△1.7％)減少している。

 [Ⅰ-4-1表]

イ　設置者別では、国立1,318人(構成比0.5％)、公立22万1,067人(同90.3％)、私立2万2,320人(同9.1％)で、前年度より、公立は3,803人、私立は439人減少している。

[Ⅰ-4-1表・Ⅰ-4-3表]

ウ　学級編制方式別では、単式学級23万8,519人(構成比97.5％)、複式学級10人（同0.0％）、特別支援学級6,176人(同2.5％）で、前年度より単式学級は4,834人減少し、複式学級は1人、特別支援学級は591人増加している。 [Ⅰ-4-2表]

エ　男女別では、男子12万5,297人(構成比51.2％)、女子11万9,408人(同48.8％)で、前年度より男子は1,947人、女子は2,295人減少している。 [Ⅰ-4-3表]

オ　市町村別では、大阪市6万4,999人、堺市2万3,564人、東大阪市1万3,650人の順に多く、千早赤阪村109人、能勢町256人、田尻町279人の順に少ない。

また、前年度より箕面市87人、泉佐野市14人、堺市13人の順に増加し、大阪市1,127人、東大阪市248人、豊中市208人の順に減少している。 [統計表24・付表-7]

カ　都道府県別では、東京都31万874人、大阪府24万4,705人、神奈川県23万5,344人の順である。 [付表-5]

キ　１学級当たりの生徒数は29.3人で、前年度より0.5人減少している。

また、市町村別では、忠岡町35.0人、高石市33.4人、交野市32.8人の順に多い。

[Ⅰ-4-1表・付表-7]

ク　教員(本務者)１人当たりの生徒数は14.3人で、前年度より0.3人減少している。

[Ⅰ-4-1表]

[Ⅰ-4-1図]　学年別生徒数の推移 [Ⅰ-4-3表]　　設置者別男女別生徒数

[Ⅰ-4-4表] 　　学年別生徒数

（４）帰国生徒数・外国人生徒数

ア　帰国生徒数は180人で、前年度間より83人(対前年度間85.6％)増加している。

[Ⅰ-4-5表]

イ　外国人生徒数は2,799人で、前年度より174人(対前年度△5.9％)減少している。

[Ⅰ-4-6表]

[Ⅰ-4-5表]　帰国生徒数 　　　[Ⅰ-4-6表]　外国人生徒数



（５）長期欠席者数（平成26年度間）

ア　長期欠席者数は1万1,997人で、前年度間より480人(対前年度間△3.8％)減少している。

 [Ⅰ-4-7表]

イ　理由別では、病気2,537人(構成比21.1％)、経済的理由2人（同0.0％）、不登校7,976人(同66.5％)、その他1,482人(同12.4％)で、前年度間より病気は90人、経済的理由は5人、不登校は27人、その他は358人減少している。 [Ⅰ-4-7表]

ウ　長期欠席者数が全生徒数に占める割合は4.82％で、前年度間より0.12ポイント低下している。全国平均は3.62％で、大阪府が1.20ポイント上回っている。 [Ⅰ-4-7表]

[Ⅰ-4-2図] 理由別長期欠席者数の推移 [Ⅰ-4-7表]　　理由別長期欠席者数

（６）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は1万7,086人で、前年度より61人(対前年度0.4％)増加している。

[Ⅰ-4-1表]

イ　設置者別では、国立66人(構成比0.4％)、公立1万5,665人(同91.7％)、私立1,355人(同7.9％)で、前年度より国立は1人、公立は79人増加し、私立は19人減少している。

[Ⅰ-4-1表・統計表27]

ウ　男女別では、男性9,290人(構成比54.4％)、女性7,796人(同45.6％)で、前年度より男性は13人、女性は48人増加している。 [統計表27]